

震災10周年祈念礼拝

「明日に向かって」

三留 謙一

あの大地震から丁度10年です。ふりかえればあつと言う間でした。完全な回復にはまだ遠いです。それでも今日は、(1) 会津チャペルの取組み、(2) 主の恵み、(3) 10年間のフクシマの歩みを数えて、明日に向かうことにします。

1. 会津チャペルの初期対応 2011年3月11日震災発生、2日後の13日の礼拝に福島第一教会の6名が出席。礼拝後のA姉の依頼で、翌日から避難者が集まり、夕方には35名になり、次の日は61名になりました。布団や食べ物をどう確保するか。無我夢中で今夜のことだけ考えました。丁度震災一年前に献堂した新会堂が、これらの方々の避難所として役に立ちました。

2. 仮設住宅でのホープ塾 その後、会津には、約一万名が避難してきました。半年後から、高田町に避難していた檜葉町へ、クラッシュ(震災支援ボランティアチーム)とともに訪問を開始。そのうち一人の主婦が言ったのです。「支援ですが、多くは年配者むけですね。」「何が必要ですか。」「子どもの勉強をみてほしいのです。」と。ではということでスタートしたのが「**檜葉ホープ塾**」。その後、ここに東京から「金パチ」グループが毎月定期的に来るようになりました。後に、そのうちの一人が、うちの娘と結婚に導かれました。これも震災の恵みでした。

また同時に近くの**亀公園**で**ホープ塾**をスタート。2015年から**会津チャペルホープ塾**となり、2017年末に学んでいた生徒が高校入学し、役目を終了。仮設支援を後押ししたのは、次の主イエスのことばです。

「あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。」
マタイ 25:40

3. 本当の支援は 「災害がどこでも起きる現代、どこに住むことになっても、自立して生きていけるように次世代を育てます。」と語っていた大熊町の武内教育長。ではどんな支援がベストか。それは次の二つの聖句に要約できます。

第一は、被災された方に主イエスと出会う機会を提供することです。これらの方々は、他人には言えない深い喪失感をもって、苦悩しております。その重荷をどこにおろせるのか。それはイエス様のみもとにおいて他にはありません。イエス様の招きのことばです。

「すべて疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。」

わたしがあなたがたを休ませてあげます。

マタイの福音書 11:28

このことばに応答していただく。それが「明日に向かって」の大きな一歩になります。

第二は、主イエスのもとに来て、重荷を下ろした方々へ、イエス様の励ましのことばです。

「わたしは世の光です。わたしに従う者は決して闇のなかをあゆむことがなく、いのちの光を持つのです。」
ヨハネの福音書 8:12

なお「従う」とは、主のことばを信じると決断し、実行し、継続することです。そのとき、上記のことばの通り、その人はいのちの光を持つ者に変えられます。これが本当の支援というものです。

その後、支援活動を続ける中で、イエス様の「わたしに何をしてほしいのか。」の問いかけに対して、まとめたのが、「フクシマの10の祈り」です。それを以下に記します。

.....

「フクシマの10の祈り」

恵泉キリスト教会・会津チャペル 三留謙一

1. 心に届く叫び それは聖歌 527「北はグリーンランドの」の一節です。

♪♪ 北はグリーンランドの氷山の地から 南アフリカの砂原から
「助けてくれ」と叫ぶ声が 心の奥に聞こえてくる ♪♪

もちろんそれは、福島県の各地からと、そして全国に避難した人たちの「助けてくれ。」という心の叫びです。

2. 人々の移動から見えるフクシマの実情 (2021/3/2 のデータ更新)

(1) 避難者総数約 10 万人 (県内約 5 万人、県外 28,505 人、自主避難者数約 2 万人)

(2) 福島県外への避難者数 28,505 人。その多くは母と子ども。

(3) 自主避難者数：福島、郡山、いわき他から自主避難者数は原発事故発 50,327 人。現在は約 20,000 人と推定、正確な数は未知。

上記 (2) と (3) のデータには、家庭が分断された母と子の叫びが詰まっている。

以下は全国の全都道府県に避難した人数の内訳 (自主避難者数は含まれていない。)

北海道 845 人 (以下数だけ)

東北 青森 175 岩手 334 秋田 383 宮城 2731 山形 1427 福島 約 50000

関東 茨城 2877 栃木 2662 群馬 613 埼玉 2667 千葉 2070 東京 2966 神奈川 1809

中信越 新潟 2171 富山 100 石川 72 福井 75 山梨 412 静岡 380

長野 498 愛知 514 岐阜 113

関西 滋賀 114 三重 126 京都 231 大阪 285 奈良 39 和歌山 25 兵庫 410

中国 岡山 198 広島 167 鳥取 37 島根 48 山口 48

四国 香川 29 愛媛 23 徳島 17 高知 3

九州 福岡 283 大分 64 佐賀 44 長崎 41 熊本 59 宮崎 148 鹿児島 45

沖縄 128

3. とりなし祈ります (10の祈り)

① 東日本大震災の犠牲者約 22200 人の魂を、主が憐れみ、永遠の安らぎ与えてくださるよう
に。また肉親を亡くした方々に、主が天来の慰めを与えて励まし、再出発の力を与えてく
ださるよう祈ります。

② 原発事故は根本的に私達人間の罪の結果です。創造主の判断を仰がず、人間としての、分
を越えた結果です。私達クリスチャンは、わが国が犯したこの罪を自分の罪として悔い改め、
創造主に赦しと憐れみをお願いしなければなりません。そして全国民が悔い改めて創造主に立ち
返れるように、とりなし祈ります。

③ 県内に避難した方々 (約 5 万人) が、いま住んでいる場所で再出発できますように。

④ 全国に散らされた母と子ども (約 49000 人) の守りと再出発。そのために全国のキリスト教会を
用いてください。

⑤ 原発事故の収束、汚水処理 (タンク数 1000 基) のため政府に決断と実行させてください。

⑥ 廃炉の推進 (今後 35 年)。毎日働いている約 4,000 人を守ってください。

⑦ 除染の進展のために。中間貯蔵施設のための確保面積は 71.1 パーセント。

⑧ 政府・県・市町村・東電に正しく判断し、決断・実行・継続させてください。

⑨ 創福島県の教会とクリスチャンに力が与え、宣教に立ち上がらせてください。

⑩ 創造主が福島県の上に強権的に再創造のことばを発してください。

4. イエス様の愛を伝えます。

「人間の再出発の切り札はやはりイエス様の愛。ですから主よ。被災された方々が
どこに住むことになっても、あなたの御手を伸ばし、この方々をキリスト教会へ導いてく
ださい。そしてこの方々が信仰をもって再出発できるように、全国のクリスチャンを用いてく
ださい。」